

電波利用環境委員会報告概要(案)

～CISPRの審議状況及びストレージ会議対処方針について～

平成27年8月24日
電波利用環境委員会

最近の主な審議状況及び対処方針(F小委員会)(1/2)

F小委員会

家庭用電気機器、照明機器等の妨害波に関する規格を策定

● 家庭用電気機器・電動工具等の妨害波規格(CISPR 14-1)の改定

【審議状況】

技術的事項の修正と表現の適正化を行うための改定の検討がCDV段階まで進んでいる。

前回のフランクフルト会議で審議された2ndCDに対する意見がCDVに反映されており、技術的な意見については十分な審議が重ねられている。特に、電圧プローブを用いた測定の代替測定方法となる電流プローブ測定の追加検討では我が国のエキスパートがTFリーダを務め、審議をリードしている。

【対処方針】

規格への反映のため、必要に応じて我が国の意見の説明を行う。

● 照明機器等の妨害波規格(CISPR 15)の改定

【審議状況】

第9版のCDが発行された。同CDでは、ポートやネットワーク等の新しい概念が導入され、規格全体の構成が変わっている。

【対処方針】

DC段階での審議が十分ではなく、検討の余地が多い項目が含まれているため、活発な審議が予想される。

新たに導入されたポートやネットワーク等の定義について明確化を求めるなど、我が国の意見が反映されるよう対処する。

最近の主な審議状況及び対処方針(F小委員会)(2/2)

● ワイヤレス電力伝送システムの審議

【審議状況】

CISPR14-1にワイヤレス電力伝送システムの許容値及び測定法を導入するための2ndDCが回付された。同DCでは、IH式調理器の定義を拡張した「誘導式電力伝送機器(IPT)」として、許容値及び測定法を設定している。

我が国のエキスパートはTF-IPT設置当初から参加して意見を提出しており、2ndDCにおいても意見がほぼ採用されている。

【対処方針】

規格への反映のため、必要に応じて我が国の意見の説明を行う。